

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

第49期（令和4年度）

事業報告書

財産目録、貸借対照表

損益計算書、剰余金処分案

千葉県自動車整備商工組合

令和４年度 事業報告

令和４年 ４月 １日から
令和５年 ３月３１日まで
千葉県自動車整備商工組合

I. 事業活動の概況に関する事項

I－１. 概 要

令和４年度の日本経済は、依然として新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受ける中、複数回のワクチン接種を進める一方、海外からの入国の緩和や全国旅行支援による人流の活性化など、外出制限を伴わない本格的な経済活動へ向かう施策がとられた年でありました。しかし、令和４年２月に起きたロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界的な原材料、物流など様々な経済活動に影響を与え、新型コロナウイルス感染症の拡大に併せ、更には円安も進み、国民生活は極めて大きな影響を受けた一年でもありました。

このような中、同年度の新車販売台数は、半導体不足やサプライチェーンの停滞等の影響により、年度前半までは低水準が続いておりましたが秋以降は回復となり、登録車が前年より１．２％増の２６９万３千台、軽自動車８．９％増の１６９万２千台、合わせて前年比４．０％増の４３８万５千台と前年度より１７万台の増加となりました。コロナ前の５００万台の水準には及ばないものの４年ぶりに前年度を上回る結果となり、今後の本格的な回復が期待されるところであります。

一方、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会の「令和４年度自動車特定整備業実態調査」結果によると、総整備売上高は５兆７，３８８億円となり、前年比３．４％増と２年ぶりの増加となりました。作業内容別では「車検整備」が２．６％増、「定期点検整備」が３．４％増、「事故整備」が４．０％増、「その他整備」が４．０％増となりました。事業場数は、９１，７１１事業場で、前年比０．３％増と７年ぶりに増加となりましたが、一方、整備士数は３３１，６８１人で前年比０．８％の減となりました。また、自動車保有台数は微増を続けているものの、今後も大きな増加を望めるものではなく、整備業界を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。

このような時代環境にあつて、自動車整備商工組合は、事業者団体としての機能を十分に発揮する為、様々な事業の効果的な実施に努めました。

先ず、総務委員会担当事業では、組織運営対策として、コロナ禍で社会全体のＩＴ化、デジタル化が急速に進む中、事務局職員に中小企業診断士等専門家をメンバーに加えたプロジェクトチームにより、組合事業、さらには、組合員事業場におけるＷｅｂの有効

な活用方法等について研究を重ねました。

また、地区（支部）・ブロックの構成等組織について検討する為に設置した「組織に関する特別委員会」では、地区（支部）やブロック等で発生している問題点を洗い出すことから始め、様々な角度から具体的な対応策等の検討を進めました。

さらに、情報化推進対策としては、自動車整備関係の諸情報や関係法令の改正等、有用な情報を収集し、広報誌「轟」に掲載すると共に、急を要する内容については、振興会のSNS（LINE・Twitter）を利用して、迅速な情報伝達の継続に努めました。

次に、事業委員会担当事業については、事業基盤強化対策として、昨年5月に軽自動車習志野予備検査場の運営を開始し、共同検査施設利用提供事業の充実と組合員の利便性向上に努めました。また、展示会の開催に合わせて、店頭の小型モニターにPR動画等を放映したり、各種取扱商品等の案内チラシ類にQRコードを掲載し、Webを連携させた情報発信を行う等、新しい方法を加えてキャンペーンを展開しながら、整備・検査用機器、用品類、油脂類の拡販に努めました。

ローン・クレジット事業では、新たな加盟店契約を募集し、新型キャッシュレス決済端末の業界への導入を始めると共に、キープ the モータース保険の加入を促進し共済事業の充実を図りました。

また、事業経営支援対策では、現状組合が認定経営革新等支援機関として、実施可能な業務等について検討し、多種多様化している補助金制度に関する相談窓口となる経験と実績のあるコンサルタントを紹介することで、組合員事業場の設備投資や資金繰り等を支援できるシステムの構築を進めました。

さらに、環境、安全対策として、中古・リビルト部品の拡販や使用済み自動車の適正回収により、自動車整備業界における環境負荷の低減を促進し、併せてリフトの点検キャンペーンを実施し、不具合の早期発見や代替えの提案を行う等、事業場の事故防止に努めました。

次に、教育委員会担当事業として、大学校の運営については、引き続き自動車整備業界に有用な実践力に富む人材を育成する為、学科、実習授業をはじめ、必要な専門教育を行いました。課外授業としては、コロナ禍の影響で中止していた研修旅行を3年振りに実施することができました。

学生募集については、長期的な学生確保を視野にベトナムの企業と教育提携を結ぶ等、留学生の募集強化に努めました。また、学費の納入が困難で入学を断念する学生等が活用できる学校独自の奨学金制度を構築する為、学生の支援を目的とする「後援会」の新設について、引き続き検討を進めました。

また、大学校は、整備主任者等資格取得講習機関として、組合員向けに必要な講習を継続的に実施し、特定整備制度への対応を図りつつ、整備技術の向上に協力致しました。

以上の諸事業につきましては、関係官庁、関係団体のご指導をいただき実施しました。ここに令和4年度事業の報告と財務諸表につき、後記の通りご報告申し上げますと共に、組合員各位のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

I－2. 事業の実施状況

総務委員会担当事業

1. 組織運営対策

(1) 通常総代会の開催（1回）

〔新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、できるだけ書面による議決をお願いする方法で開催〕

R 4. 5. 2 7（第1回）

1. 令和3年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について
2. 令和4年度事業計画案並びに収支予算案について
3. 役員報酬について
4. 金融機関からの借入金残高の最高限度額決定について
5. 一組合員に対する貸付残高の最高限度又は一組合員の為にする債務保証金残高の最高限度について
6. 任期満了に伴う総代の改選について

(2) 理事会の開催（3回）

R 4. 5. 1 0（第1回）

1. 令和3年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について

2. 第48回通常総代会に提出する議案の審議について
3. 第48回通常総代会の会期日、場所決定について
連絡報告事項

R 4. 1 1. 8（第2回）

1. 令和4年度上期事業報告並びに収支決算について
2. 組合員慶弔規程の一部変更について
連絡報告事項

R 5. 3. 2 4（第3回）

1. 令和5年度事業計画案並びに収支予算案について
2. 借地賃料の改定について
3. 定款の一部変更について
連絡報告事項

(3) 監事会の開催（4回）

R 4. 4. 2 7（第1回）

1. 令和3年度期末決算について

R 4. 9. 3 0（第2回）

1. 令和4年度9月末印紙類
監査について

R 4. 1 0. 2 5（第3回）

1. 令和4年度9月末現在
（上期）決算について

R 5. 3. 3 1 (第4回)

1. 令和4年度3月末印紙類
監査について

(4) 正副会長・理事長会議の開催 (3回)

R 4. 4. 1 9 (第1回)

- ①令和3年度事業報告並びに収支決算報告について
- ②第48回通常総代会の開催について

R 4. 1 0. 1 8 (第2回)

- ①令和4年度上期事業報告並びに収支決算報告について
振興会・商工組合
- ①陸運関係功労者等の推薦について

R 5. 3. 1 0 (第3回)

- ①令和5年度事業計画案並びに収支予算案について
- ②定款の一部変更について
連絡報告事項

(5) 正副会長・理事長・委員長会議の開催 (3回)

R 4. 4. 1 9 (第1回)

- ①令和3年度事業報告並びに収支決算報告について
連絡報告事項

R 4. 1 0. 1 8 (第2回)

- ①令和4年度上期事業報告並びに収支決算報告について
連絡報告事項

R 5. 3. 1 0 (第3回)

振興会・商工組合

- ①令和5年度事業計画案並びに収支予算案について
連絡報告事項

(6) 各種委員会の開催

- ①総務委員会 (3回)
- ②事業委員会 (2回)
- ③教育委員会 (2回)
- ④組織に関する特別委員会 (4回)

R 4. 8. 1 (第1回)

R 4. 1 0. 3 (第2回)

R 4. 1 2. 9 (第3回)

- ①支部(地区)、ブロック等で発生している問題点等と対応策
等について

R 5. 3. 2 0 (第4回)

- ①理事会への答申書(案)について

(7) 正副ブロック長会及びブロック会の開催

- ①千葉ブロック会（5回）
- ②北総ブロック会（4回）
- ③習志野ブロック会（3回）
- ④野田ブロック会（7回）
- ⑤袖ヶ浦ブロック会（3回）
- ⑥ディーラーブロック会（6回）

(8) Webの有効な活用方法についての研究

千葉県中小企業団体中央会が実施する「組合等新分野開拓事業」を活用し、事務局職員に中小企業診断士等、専門家数名を加えたプロジェクトメンバーにより、組合事業におけるWebの有効な活用方法について研究した。

(9) 地区・ブロック活動への協力

各種会議、研修会等に参加し、地区・ブロック活動の円滑化に協力した。

(10) 地区・ブロックの構成等組織についての検討

振興会・商工組合の特別委員会「組織に関する特別委員会」で支部（地区）、ブロック等で発生している諸問題を洗い出し、その中から重要課題5項目について、対応策等を具体的に検討し、理事会へ答申した。

(11) 役員・委員等研修会

役員、委員、地区長等に対し研修会を開催し、団体リーダーとしての資質向上を図った。

(12) 退任された役員・委員への感謝状等の贈呈

- ①任期途中で退任された役員等に対して感謝状及び記念品を贈呈した。
- ②死亡により退任された理事（事業委員会委員）1名のご遺族に対し御礼品を贈呈した。

(13) 事務局職員の資質・能力の向上

- ①事務局職員に必要な各種研修会、講習会等に参加させ事務局機能の充実強化を図った。
- ②事務局の職制職員を対象に動画「人事考課短期集中セミナー」によりオンデマンドで考課者研修を実施した。

(14) 事務局組織の効率的な運営の推進

振興会・商工組合の両団体の事務局組織の効率的な運営の為、適材適所を基本に必要なにより団体間の職員の転属等を実施した。また、両団体事務局職員のプロジェクトメンバーにより、今後の事務局組織と業務の在り方等について具体的に検討した。

(15) 自動車法制・税制改正についての情報収集及び対応

道路運送車両法等、自動車関係法令改正の動向や国土交通省、経済産業省等各省庁が発表した令和5年度税制改正要望、さらには、年末に政府与党が発表した税制改正大綱等の情報の収集に努めた。

- (16) 軽自動車習志野予備検査場の開設
軽自動車検査協会千葉事務所習志野支所の移転オープンに合わせ、令和4年5月2日（月）から予備検査業務を開始した。
- (17) 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応
国や県及び各団体等が発信する新型コロナウイルス感染症に関する各種情報に注視し、会議や研修会等の各種催事の開催について、状況に合わせて検討するとともに必要十分な対応に努めた。
- (18) 表彰業務の実施（受賞者氏名は順不同・敬称略）
①陸運関係功労者千葉運輸支局長表彰
②陸運関係功労者国土交通大臣表彰
③陸運従事者関東運輸局長表彰（職員）
- (19) 自動車業界関連団体、関係業界との連携・協調
業界の共通諸問題への対応の為、関係団体、業界と緊密な連携、協調を図った。
①三団体長会（1回）
②四団体正副長会（2回）
③自動車関連団体で構成する千葉県自動車関係機関連絡協議会に参加し、情報交換に努めた。
④自動車関連団体で構成する陸運懇話会に参加し、情報交換に努めた。
⑤県外業界団体、関係業界との連携協調に努めた。
⑥整友会への支援
⑦千葉日報社新春賀詞交歓会
⑧千葉商工中金会新年賀詞交歓会
⑨千葉県中小企業団体中央会新春交流会

2. 情報化推進対策

- (1) 自動車整備関係諸情報の収集及び提供
整備市場の現状と動向を継続的に調査し、調査結果を適宜公表・提供することにより組合員事業場の経営の資とした。
- (2) 中小企業関係法令の情報収集及び提供
企業を取り巻く経済環境、雇用関係の変化に伴う関係法令の改正等について広報誌「轟」に適宜掲載し、組合員の啓発を図った。
- (3) ホームページによる情報発信と活用促進
①組合員の皆さんに役立つ各種情報等を継続してホームページに掲載し、迅速な情報の提供に努めるとともに、ホームページをリニューアルし、より効率的な運用を図った。
②商工組合の事業報告書、事業計画書の電子ブック版を作成し、ホームページ上に公開した。

- (4) 広報誌「轟」(e-book版含む)による情報発信
振興会の実施する広報誌「轟」の発行に協力し、整備事業に必要な各種情報の迅速な伝達に努めた。
- (5) SNSを利用した情報の発信
振興会のSNS(LINE・Twitter)を利用し、整備事業に必要な各種情報のより迅速な伝達に努めた。
- (6) 有利な金融情報の収集及び提供
千葉県が中小企業者向けに実施する融資制度等を広報誌「轟」に掲載し案内した。

3. 福利厚生対策

- (1) 組合員に対する慶弔、見舞い等の実施
組合員慶弔規程により、組合員に対する慶弔、見舞い等を実施した。
- (2) 福利厚生制度「中央会バリュー倶楽部」の利用促進
全国中小企業団体中央会が運営事務局になっている福利厚生制度「中央会バリュー倶楽部(ベネフィット・ステーション)」の運営に協力した。
- (3) 千葉県自動車販売整備健康保険組合への協力
 - ①健康保険組合が行っている福利厚生事業に協力した。
 - ②健康保険組合の互選理事を商工組合から派遣した。

4. その他

- (1) 一般社団法人千葉県自動車整備振興会が行う事業への協力
振興会が創立70周年記念事業を進めるに当たり、事務局職員のプロジェクトメンバーとして検討に加わり実施に向け協力した。

事業委員会担当事業

1. 事業経営基盤強化対策

組合員の経営効率の向上と当組合の経済事業の充実強化並びに組合員の労務、福祉対策の向上及び雇用環境の改善の為、次の事業を実施した。

(1) 共同経済事業の充実・強化

①整備・検査用機器類、油脂類、整備用品等共同購販事業

②中古・リサイクル部品の利用促進

環境にやさしい自動車整備への取組みとして中古、リビルト部品の利用促進を図った。

③自動車整備事業に係わる様式、伝票、図書類の販売事業

組合員事業所の経営管理と業務の改善並びに合理化を図る為実施した。

④共同検査施設利用提供事業

組合員の車検時における検査合格率の向上とコスト低減を図る為実施した。

⑤保険代理事業

自動車損害賠償責任保険の加入手続きを実施した。

⑥組合指定事務代行者の利用促進

⑦自動車重量税印紙、登録印紙、収入印紙、郵便切手、郵便ハガキ類の売り捌き事業

組合員の利便性向上の為実施した。

⑧自動車税証紙、審査証紙の売り捌き事業

組合員の利便性向上の為実施した。

⑨ローン・クレジット事業

⑩組合員メリットの研究

組合員カード、会員・組合員カードの各支所窓口、予備検査場等での有効な活用について検討した。

(2) 共済事業の充実・促進

組合員の労務福祉対策の向上及び雇用環境の改善を図る為、次の事業を実施した。

①日整連自動車整備業賠償共済保険制度（受託車保険）の加入促進

②日整連オアシス生命共済制度の加入促進

③－ 1 日整連ミニ医療保険Rの加入促進

③－ 2 日整連終身医療保障制度の加入促進

④特定退職金共済制度の加入促進

⑤てんけん安心見舞金制度の加入促進

定期点検整備促進の為、てんけん安心見舞金制度の加入促進を図った。

プレゼント証綴の販売（1冊20台分）

⑥キープ the モーターズ保険の加入促進

2. 事業経営支援対策

組合員事業の経営の安定化と活性化を図る為、次の事業を実施した。

(1) ETC、ETC2.0セットアップ事業の推進

①四輪車、二輪車用ETCセットアップ登録店の加入促進

四輪車、二輪車用ETCセットアップ主任者の講習会を11回（11名）実施した。

②ETC2.0セットアップ登録店の加入促進

ETC2.0セットアップ主任者の講習会を2回（2名）実施した。

③ ETC普及促進キャンペーン参加店の募集と運営の支援

(2) レンタカーによる代車サービスシステムの導入・促進

組合員に対してレンタカーによる代車サービスシステムの導入促進を図った。

(3) スキャンツールの普及促進

スキャンツール補助金の案内と申請手続きへの相談に対応し、補助金を活用したスキャンツールの普及促進を図った。

(4) 各種セミナーの開催

特定整備の申請、OBD車検への対応に向けたセミナーを実施した。

(5) 整備事業の経営に関する相談・指導

①新規認証の取得及び指定工場の取得に対して相談に応じた。

②特定整備制度に関する相談に応じた。

③各種補助事業に関する情報提供及び相談に応じた。

(6) 中小企業等経営強化法における認定経営革新等支援機関の業務についての検討

①認定経営革新等支援機関の業務について、千葉県中小企業団体中央会と株式会社商工組合中央金庫千葉支店の担当者に相談し研究を行った。

②外部組織（コンサルタント等）と連携した組合員支援について検討した。

3. 環境、安全対策

事業場の環境保全及び安全、災害防止の為、次の事業を実施した。

(1) 環境保全対策の推進

①使用済自動車の適正処理の促進

使用済自動車の収集、運搬、中間処理業者と提携し、適正回収処理の斡旋紹介を行った。

②産業廃棄物の適正処理の斡旋及び調査

自動車産業廃棄物の処理事業者に廃油、廃オイルフィルター、油水分離槽内の回収を斡旋した。

③廃バッテリーの適正処理の促進

整備業界の資源循環率の向上を図る為、廃バッテリー回収業者の斡旋紹介を行った。

④整備用公害防止設備機器等の普及促進

フロンガス回収再生機器、オパシメーター、排気ガステスター等の環境整備機器の導入促進に努めた。

(2) 安全、災害防止対策の推進

①作業場の安全、環境美化の推進

②整備用機器の安全使用についての指導・推進

リフト点検推進キャンペーンの実施

4. 業界関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う関連事業に協力した。

(1) 点検・整備実施率向上キャンペーン

点検・整備入庫促進向上キャンペーン「車検・点検ラッキーフェア」のポスターを支所窓口に掲示しPRすると共に、抽選券の配付、回収に協力した。

(2) 継続検査ワンストップサービス（OSS）

電子保適証サービス及び代理申請サービスの申し込み受付に協力した。

(3) 定期点検済ステッカーの利用促進

定期点検済ステッカーの配付 2, 591, 601枚

(4) 自動車検査の予約受付及び確認業務

(5) 自動車税納付状況確認業務

組合員の利便を図る為、千葉県自動車税事務所の納税確認業務に協力した。

(6) 「こども110番の店」の普及促進及び周知

新規組合員へのマニュアル、ステッカー、のぼり旗の配付に協力した。

教育委員会担当事業

1. 専門学校千葉県自動車大学校の運営

自動車整備技術の応用能力向上と人格の形成に努め、自動車業界に有用な実践力に富む人材を育成する為の専門教育を行うと共に、学校運営に必要な事業を行った。

(1) 教育計画の実施

①学科、実習授業

一級自動車研究科22期生（1年生）、21期生（2年生）、20期生（3年生）、19期生（4年生）、二級自動車整備科53期生（1年生）、52期生（2年生）に対して計画通り授業を実施した。

②課外授業

課外として行事を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から計画されていた課外活動を一部中止した。

③資格取得の為の特別授業

資格取得の為、特別授業（課外含む）を実施、または講習を受講し試験を受験した。

④生活指導

生活指導の為、下記の訓練・指導を行った。

- (a) 規律動作訓練の実施
- (b) 防災避難訓練の実施
- (c) 安全衛生健康管理の指導
- (d) 月間目標の徹底による学習意欲の向上
- (e) 遅刻・欠席者に対して電話・面接等の実施
- (f) 問題のある学生に対する保護者面談の実施
- (g) 社会人としての心構え等の指導

⑤学生クラブ活動

- (a) 軟式野球部への助成
- (b) 自動車部への助成
- (c) サッカー部への助成

⑥交通安全教育

交通安全教育の為、下記の指導を行った。

- (a) 二輪・四輪自動車通学者の車両チェックと安全指導の実施
- (b) 交通安全運転教室の実施
- (c) 夏休み中の交通安全に対する家庭への連絡
- (d) 自転車通学者への安全指導の実施（ステッカーの貼り付け義務）

⑦登録試験対策

- (a) 全員合格のための特別教育を実施した。
- (b) 卒業生（研究科・整備科）は、令和4年度第2回自動車整備技能登録試験を受験した。

(2) 学校運営に伴う諸行事の実施

- ①入学式
- ②卒業式
- ③入学試験

(3) 広報、学生募集活動の充実、強化

学生募集及び広報活動として次のことを実施した。

- ①県内の高等学校を訪問しPRの実施
- ②高等学校の校内説明会、模擬授業への参加
- ③会場説明会、情報交換会、連絡協議会等への参加
- ④小中学校主催の職業教育学習会への参加
- ⑤体験入学、学校見学会、保護者対象説明会等の実施
- ⑥入学希望者に対する個別相談の実施
- ⑦中学校、高等学校の職場体験受入等の実施
- ⑧広告媒体の広報誌等へPR記事の掲載
- ⑨ホームページを活用したPRの実施
- ⑩高校生、既卒者を対象としたダイレクトメールの実施
- ⑪CATSカーフェスティバルの実施
- ⑫留学生の募集強化に関する調査、実施

⑬海外の大学等との教育提携の調査と実施

⑭その他の募集に関する活動の実施

(4) 就職活動に対する支援

①就職関係の情報収集

整備業界、採用企業ニーズの把握に努めた。

②求人依頼

組合員事業所への求人票の配付・回収を行った。

③企業説明会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から縮小して行った。

④学生への就職指導

(5) 職業実践専門課程の実施

教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を実施した。

(6) 学生生活充実の為の環境整備及び教育設備機器の充実

①美的環境の整備

②災害に対応した環境の整備

③教育・設備機器の充実及び整備

(7) 教育関係書籍、試験申請書類等の販売

整備士養成用教科書、問題集等の販売を行った。

(8) 指導技術及び資質の向上

職員の指導技術及び資質の向上を図る為、下記の講習会等に参加した。

①一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会主催の「総会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。

②千葉県専門学校協会主催の「全大会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。

③全国自動車大学校・整備専門学校協会主催の「総会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。

④一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催の「中堅教職員研修会」にWeb参加し、資質の向上に努めた。

⑤日本自動車整備商工組合連合会主催の「管理職員研修」に職員を派遣し、資質の向上に努めた。

⑥日産自動車株式会社主催の「日産技術講習会」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。

- ⑦株式会社SUBARU主催の「SUBARU技術研修会」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
 - ⑧全国自動車大学校・整備専門学校協会主催の「経営研究会」にWeb参加し、学校運営に関する情報収集に努めた。
 - ⑨一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会主催の「南関東ブロック会議」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
 - ⑩全国専門学校協会主催の「専門学校留学生担当者研修会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
 - ⑪マツダ株式会社「マツダSKYACTIV技術セミナー」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
- (9) 卒業生への情報提供
- ①整備相談及び各種の問い合わせに対する情報提供
整備相談、資格試験についての問い合わせに対応した。
 - ②一級口述試験合格対策講習
令和3年度一級自動車研究科卒業生に口述試験対策を実施した。
- (10) 組合員向け各種講習の実施
運輸支局長認定講習機関となり、組合員向けに電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習（実習）を行った。
- (11) 次世代自動車に対する整備技術の調査、研究
日本電気自動車レース協会主催の全日本電気自動車グランプリシリーズに参加し、燃料電池車両の特性について研究した。
- (12) 独自の奨学金制度について調査、研究
学校独自の奨学金制度について、後援会組織の設立も併せて継続検討することとした。
- (13) 第24回千葉県自動車整備技能競技大会の開催
県内の整備事業に従事している自動車整備士の技能の向上を図るとともに、自動車の技術革新に対応した安全の確保並びに環境保全及び定期点検整備の普及促進、交通事故の防止、公害防止に寄与することを目的として第24回千葉県自動車整備技能競技大会を実施した。

2. 教育関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う事業に協力した。

- (1) 整備士養成対策
- ①労働安全衛生法に基づく講習
- (2) 行政協力対策
- ①自動車整備人材確保・育成地方連絡会

3. その他

- (1) 工業系高校人材育成コンソーシアム千葉の総会に参加した。
- (2) 千葉運輸支局整備部門より車両の不正改造に関する講習を実施した。
- (3) 千葉県現代産業科学館展示運営協力会に協力した。

財 産 目 録

令 和 5 年 3 月 3 1 日 現 在

科 目		摘 要	金 額
流 動 資 産		円	円
現 金	金	期末現金、手許有高	3,763,310
預 金	金	当座預金、(株)千葉銀行 本店	19,953,106
		〃 習志野台支店	40,095,583
		〃 袖ヶ浦支店	34,034,785
		〃 野田支店	40,010,691
		(株)千葉興業銀行本店	26,792,874
		(株)商工組合中央金庫千葉支店	6,023,835
		小 計	(166,910,874)
		郵便振替、(株)ゆうちょ銀行	5,089,350
		小 計	(5,089,350)
		普通預金、(株)千葉銀行本店	6,589,640
		(株)千葉興業銀行本店	5,235,751
		(株)商工組合中央金庫千葉支店	3,998,599
		小 計	(15,823,990)
		定期預金、(株)千葉銀行本店	10,000,000
		(株)商工組合中央金庫千葉支店	20,000,000
		小 計	(30,000,000)
印 紙 勘 定		自動車重量税印紙期末有高	126,885,200
		自動車検査登録印紙期末有高	33,034,850
		収入印紙、切手類期末有高	307,614
証 紙 勘 定		自動車審査証紙期末有高	32,711,300
		千葉県自動車税証紙期末有高	8,206,700
受 取 手 形		商品売上代 8枚	3,904,084
売 掛 金		商品売掛先	82,556,286
未 収 入 金		(一社)全国軽自動車協会連合会千葉事務所 重量税印紙代 以下 29件	51,330,400
		郵便事業(株) 印紙売捌手数料	9,659,218
		組員 受託車保険料先月払分	13,631,460
		〃 月末の事務代行料他 5口	2,922,100
仮 払 金		大学校、各支所小払資金、つり銭	11,060,389
		千葉県自動車税事務所 証紙誤表示額他 4口	504,013
商 品		期末棚卸高 機械工具	33,679,602
		用 品	17,078,101
		オ イ ル	9,519,166
		様 式 類	7,687,707
流 動 資 産 計			666,265,714

科 目	摘 要	金 額
固 定 資 産		円
建 物	本部 1号館、千葉市美浜区新港 156、157 鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼会議室 1, 683. 54㎡23, 227, 045 鉄筋造平家建検査場、調整室401. 82㎡2, 138, 734 鉄筋造平家建倉庫、油脂庫259. 00㎡655, 184 軽量鉄骨プレハブ平家建倉庫39. 20㎡967, 729 小 計(26, 988, 692) 本部 2号館、千葉市美浜区新港 156 鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼教室 工場兼倉庫、実習棟4, 479. 55㎡72, 408, 112 鉄骨造平家建実習棟、ピロティ棟768. 37㎡38, 405, 776 小 計(110, 813, 888) 教育センター 千葉市美浜区新港 171-1 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建倉庫53. 57㎡4, 224, 719 小 計(4, 224, 719) 習志野支所、船橋市習志野台 8-19-8 鉄骨造三階建事務所1, 232. 54㎡56, 630, 732 鉄骨造平家建検査場527. 85㎡3, 699, 468 商品倉庫棟127. 00㎡328, 355 八千代市緑が丘西8-10-25 軽自動車習志野予備検査場136. 75㎡32, 627, 964 小 計(93, 286, 519) 袖ヶ浦支所、袖ヶ浦市長浦 580-81 鉄骨造平家建事務所415. 00㎡9, 057, 784 鉄骨造平家建検査場、整備場403. 79㎡8, 747, 869 鉄骨造二階建教育棟539. 50㎡8, 615, 314 軽自動車袖ヶ浦出張所55. 00㎡4, 168, 017 小 計(30, 588, 984) 建 物 付 属 設 備265, 902, 802 本部 1号館 電気設備1, 607, 904 給排水衛生設備1, 405, 131 空調及び換気設備20, 400, 779 内装設備、補修工事他5, 303, 666 倉庫設備2 小 計(28, 717, 482) 本部 2号館 電気設備12 給排水衛生設備1, 318, 281 空調及び換気設備54, 277, 974 昇降機、緩降機設備106, 994 内外装付属設備11 内外装補修工事26, 062, 778 小 計(81, 766, 050) 教育センター 電気設備295, 255 小 計(295, 255)	円

科 目	摘 要		金 額
建 物 付 属 設 備	習志野支所		円
	電気設備	1,244,214	
	給排水衛生設備	268,032	
	空調及び換気設備	723,186	
	車輛簡易整備場、旗、ポール他	3	
	軽自動車予備検査場		
	電気設備	6,070,889	
	給排水衛生設備	6,243,080	
	空調及び換気設備	1,748,192	
	検査機器対応工事	4,079,869	
	小 計	(20,377,465)	
	袖ヶ浦支所		
	電気設備	302,402	
構 築 物	給排水衛生設備	4,984,773	
	空調及び換気設備	391,305	
	小 計	(5,678,480)	136,834,732
	本部 1号館		
	外溝、門扉、看板、アンテナ等	311,674	
	本部 2号館		
	外溝、舗装、ブロック塀、校名看板	3,697,534	
	教育センター		
	外構、舗装、駐車場排水、外灯、駐輪場、門扉等	36,545,121	
	習志野支所		
	外構工事	1	
	軽自動車予備検査場		
	外構、舗装、門扉、フェンス等	10,593,768	
機 械 装 置	袖ヶ浦支所		
	造園、フェンス、門、構内舗装等	4	51,148,102
	予備検査用機器	1基	1
	専門学校実習用機器	77基	8,337,611
車 両 運 搬 具	袖ヶ浦支所、教育用機器	8基	8
	乗用車18両、小型貨物車10両、 フォークリフト 3両	計	31両
			5,073,630
工 具 器 具 備 品	本部事務室備品	29種	2,160,761
	千葉支所、営業室、検査場備品	22種	10,568,678
	専門学校整備士教育施設備品	92種	17,598,030
	習志野支所、営業室、検査場備品	31種	33,331,270
	袖ヶ浦支所、営業室、検査場、教育棟備品	26種	3,450,539
	野田支所、検査場備品	9種	53,570
土 地	千葉市美浜区新港 155番		
	1筆 1,694.69㎡	105,746,085	
	千葉市美浜区新港 156、157番		
	1筆 4,894.00㎡	184,649,220	
	千葉市美浜区新港 171番 1		
	1筆 2,870.51㎡	209,786,723	
	千葉市美浜区新港 223番 18		
	1筆 255.87㎡	5,402,906	
	船橋市習志野台 8丁目 1980番 以下		
	9筆 1,969.81㎡	61,993,000	
	八千代市緑が丘西8丁目10番25	1筆 518.07㎡	56,691,940

科 目	摘 要	金 額
土 地	円	円
	袖ヶ浦市長浦 580- 81、83、84 3筆 6,695.70㎡ 160,183,113	
	袖ヶ浦市長浦 580- 259 1筆 110.00㎡ 6,001,160	790,454,147
退 職 給 与 引 当 特 定 預 金 保 証 金	役職員退職給与引当特定預金 千葉銀行本店 口座番号 3551388 日本自動車整備商工組合連合会 ETCセットアップ店登録保証金 4,410,000	85,322,780
関 係 先 出 資 金	(株)千葉県軽自動車サービスセンター 千葉事務所入室保証金 習志野事務所入室保証金 1,920,000 8,600,000	14,930,000
	(株)商工組合中央金庫 19,000,000	
	(株)千葉県軽自動車サービスセンター 3,330,000	
	日本自動車整備商工組合連合会 730,000	
	ビービー・カストロール(株) 4,350,000	27,410,000
長 期 前 払 費 用	(財)自動車リサイクル促進センター 自動車リサイクル料預託金 (組合所有車両分)	570,870
固 定 資 産 計		1,453,147,531
資 産 合 計		2,119,413,245

科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債	円	円
買 掛 金	商品仕入代 48口	81,053,510
未 払 金	未払費用 25口 6,431,225	
	未払消費税 6,223,500	12,654,725
未 払 費 用	職員の給料手当 (締後3/16～3/31分)	11,493,205
預 り 金	職員、顧問、講師等預り金 (源泉所得税等) 1,568,249	
	大学校学生研修旅行等行事積立金 20,063,465	
	共済保険料、脱退企業出資預り金他 4,538,800	26,170,514
前 受 金	令和5年度分千葉県自動車大学校入学者学費等	53,233,098
納 税 引 当 金		802,000
流 動 負 債 計		185,407,052
固 定 負 債	円	円
預 り 保 証 金	ETCセットアップ店登録保証金 4,690,000	
	自動車重量税印紙等の取引に係る保証金 42件 83,000,000	87,690,000
固 定 負 債 計		87,690,000

科 目	摘 要	金 額
引 当 金		円
貸 倒 引 当 金	当期末残高	2, 949, 000
退 職 給 与 引 当 金	〃	83, 591, 919
事 業 引 当 金	〃	195, 000, 000
専 門 学 校 金	〃	180, 994, 769
施 設 引 当 金	〃	174, 318, 020
会 館 修 繕 等 金	〃	
引 当 金 計		636, 853, 708
負 債 合 計		909, 950, 760
正 味 資 産		1, 209, 462, 485

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流 動 資 産	666,265,714	流 動 負 債	185,407,052
現 金	3,763,310	買 掛 金	81,053,510
預 金	217,824,214	未 払 金	12,654,725
印 紙 勘 定	160,227,664	未 払 費 用	11,493,205
証 紙 勘 定	40,918,000	預 り 金	26,170,514
受 取 手 形	3,904,084	前 受 金	53,233,098
売 掛 金	82,556,286	納 税 引 当 金	802,000
未 収 入 金	77,543,178		
仮 払 金	11,564,402	固 定 負 債	87,690,000
商 品	67,964,576	預 り 保 証 金	87,690,000
		引 当 金	636,853,708
		貸 倒 引 当 金	2,949,000
固 定 資 産	1,453,147,531	退 職 給 与 引 当 金	83,591,919
建 物	265,902,802	事 業 引 当 金	195,000,000
建 物 付 属 設 備	136,834,732	専 門 学 校 施 設 引 当 金	180,994,769
構 築 物	51,148,102	会 館 修 繕 等 引 当 金	174,318,020
機 械 装 置	8,337,620		
車 両 運 搬 具	5,073,630	負 債 合 計	909,950,760
工 具 器 具 備 品	67,162,848		
土 地	790,454,147	資 本	732,290,000
退職給与引当特定預金	85,322,780	出 資 金	732,290,000
保 証 金	14,930,000		
関 係 先 出 資 金	27,410,000	法 定 準 備 金	262,285,000
長 期 前 払 費 用	570,870	資 本 準 備 金	22,785,000
		利 益 準 備 金	239,500,000
		剰 余 金	214,887,485
		特 別 積 立 金	213,500,000
		繰 越 利 益	321,134
		当 期 利 益	1,066,351
		純 資 産 合 計	1,209,462,485
資 産 合 計	2,119,413,245	負債・純資産合計	2,119,413,245

損 益 計 算 書

令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
事業収入			
商品共同購入手数料	145,235,633	法定福利費	59,458,837
売上高	1,016,065,576	福利厚生費	1,890,183
期首棚卸高	41,551,248	退職金	17,990,000
仕入高	897,243,271	旅費交通費	14,706,638
売上原価	870,829,943	消耗品費	7,467,387
期末棚卸高	67,964,576	印刷費	7,510,430
施設利用料収入	165,978,460	通信費	7,650,990
保険手数料収入	12,581,361	渉外費	548,048
事務代行手数料収入	48,722,645	慶弔費	881,420
印紙手数料収入	88,462,118	顧問料	3,289,000
証紙手数料収入	3,163,141	租税公課	46,645,432
ローン手数料収入	525,696	図書費	663,148
共済手数料収入	29,648,683	職員研修費	431,790
業務受託収入	49,208,921	雑費	3,316,965
学校事業収入	135,141,700	水道光熱費	18,140,957
会館等利用料収入	57,285,803	修繕費	6,224,087
		会館保守管理費	20,495,329
事業総利益計	735,954,161	損害保険料	3,065,694
事業費及び		賃借料	50,817,580
一般管理費		減価償却費	67,606,403
販売促進費	1,659,858	事業経費計	742,287,382
広報費	16,208,962	事業利益	-6,333,221
調査費	299,160	事業外収入	
研究費	843,757	受取利息	1,367,750
車両費	9,681,889	雑収入	6,800,465
会議費	4,051,363	固定資産売却益	103,358
関係団体負担金	1,694,150	引当金戻入	8,000,000
指導費	2,663,211	計	16,271,573
教材費	3,272,927	事業外費用	
業務受託費	5,280,000	固定資産除却損	1
教育諸掛	1,040,809	引当金繰入	8,070,000
商品棚卸損	76,623	計	8,070,001
役員報酬	6,700,000	税引前当期利益	1,868,351
給与手当	280,381,655	法人税等引当額	802,000
賞与	69,632,700	当期利益	1,066,351

剰 余 金 処 分 案

令和 4 年 4 月 1 日 から
令和 5 年 3 月 31 日 まで

当期未処分利益剰余金	円
当 期 利 益 剰 余 金	1, 066, 351
繰 越 利 益 剰 余 金	321, 134
合 計	1, 387, 485
剰 余 金 処 分 額	
利 益 準 備 金	500, 000
特 別 積 立 金	500, 000
合 計	1, 000, 000
次期繰越利益剰余金	387, 485

監 査 報 告 書

中小企業団体の組織に関する法律第47条第2項において準用する中小企業等協同組合法第40条第5項により、特定理事から受領した令和4年度（第49期）財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び事業報告書を監査した。

1 監査方法の概要

決算関係書類及び事業報告書の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、理事会議事録の閲覧、重要な事業の経過報告の聴取その他通常とるべき必要な方法を用いて調査した。

2 監査結果の意見

- (1) 財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、組合財産及び損益状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- (2) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合している。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示している。

令和5年4月28日

千葉県自動車整備商工組合

監	事	松 丸 浩	
監	事	吉 田 俊 子	
監	事	今 関 光 俊	

上記の通り承認致します。

令和5年 5月10日

千葉県自動車整備商工組合

代表理事（理事長）	秋 葉 邦 男
理 事（副理事長）	大 木 康 正
同 （副理事長）	小 高 徹
同 （専務理事）	大 沼 栄次郎
同 （常務理事）	泉 水 宏 次
同	本 宮 正 義
同	林 田 宗 篤
同	荻 野 誠 一
同	竹之内 康 男
同	小 澤 勝 彦
同	櫻 田 基 介
同	石 井 方 典
同	岡 澤 富 広
同	佐 藤 尚 武
同	石 橋 正 敏
同	今 関 幸 男
同	月 岡 一 泰
同	勝 又 修 一
同	渡 辺 一 宏
同	杉 田 弘 幸

理 事

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

吉 田 則 彦

村 越 恒 則

野 地 謙 介

武 藤 孝 幸

渡 邊 和 人

古 谷 義 明

野 崎 伸 一

松 丸 幸 一

相 野 喜 昭

吉 野 秀 俊

女 良 好 弘

渡 邊 秀 敏

高 山 寛

保 坂 知 宏

越 川 寛 一

横 田 和 也

藪 寄 勇 治

清 水 貞 弘

加 瀬 一 幸